



令和8年1月29日
九州地方整備局

ハイブリッドドローンを活用した実証実験について

～南海トラフ巨大地震を想定した新たな被災状況調査手法（実証実験）～

- 今回、南海トラフ巨大地震による津波被害を想定し、長距離飛行が可能なハイブリッドドローンを使用して延岡～日向間沿岸の約72km（片道36kmの往復フライト）の区間の被災状況調査のための実証実験を行います。
- ハイブリッドドローンは、燃料とバッテリーで駆動し、長時間飛行かつ長距離移動できることが特長です。
- 延岡市沿岸の港湾施設、河口部、海浜、半島等の地域の状況を撮影し、得られた映像の実用性や3次元点群データの精度を検証します。
- 今回の飛行方法は、無人地帯での補助者を配置しない完全目視外飛行（レベル3.5飛行）であり、ハイブリッドドローンでは、国土交通省の取り組みの中で全国初の試みとなります。

① 日時

令和8年2月5日（木） 10：00～（予備日：2月6日）

※現地の天候により変更になる場合は別途記者発表いたします。

② 離発着場所

五ヶ瀬川河口（宮崎県延岡市方財町）

③ 取材対応箇所

・実証実験現場（宮崎県延岡市方財町 五ヶ瀬川河口）

④ スケジュール（案）

9：30 受付開始

10：00 実証実験開始（実飛行予定時間：2時間30分）

12：30 実証実験終了

【問合せ先】

九州地方整備局 災害対策マネジメント室 室長 松木 厚廣（内線2181）

課長補佐 矢羽田 成功（内線2182）

電話番号：092-471-6331（代表） 092-476-3544（直通）

FAX番号：092-476-3467

【ハイブリッドドローンを活用した実証実験概要】

